

主催：日本特別ニーズ教育学会
共催：東京学芸大学CCSS児童・生徒支援連携センター

シンポジウム 「貧困と特別ニーズ教育」

「特別な教育的ニーズ」、即ち学校が活用できる通常の「ひと・もの・こと」では充足できないニーズを有する児童生徒の中でも、「貧困」に起因する学習と発達への権利侵害を受けている児童生徒の存在が問題となっています。こうした状況に対して特別ニーズ教育はどのように応えるべきか、応えることができているのか。今回の日本特別ニーズ教育学会・中間集会は『経済的に困難な家庭状況にある児童・生徒へのパッケージ型支援に関する調査研究プロジェクト』を推進している東京学芸大学CCSS児童・生徒支援連携センターとの共同開催でシンポジウムを企画しました。今後の課題研究としての展開を見据え、広く議論する機会にしたいと思います。

日時：2017年6月4日(日) 13:00～17:00

場所：東京学芸大学 S410教室

参加費：資料代 500円

研究交流・情報交換会 500円

* 研究交流・情報交換会はシンポジウム終了後、
S401教室で開催します。

司会：古家 眞(パッケージ型支援PJ特命教授)
挨拶：朝倉 隆司(東京学芸大学教授/CCSSセンター長)
高橋 智(東京学芸大学教授/SNE学会代表理事)

<基調提案>

日本特別ニーズ教育学会から 加瀬 進(東京学芸大学教授/SNE学会副代表理事)
パッケージ型支援PJから 松田 恵示(東京学芸大学副学長(研究・広報担当))

<シンポジスト>

栗木 美代子(パッケージ型支援PJ・専門研究員/小金井市SSW)
竹鼻 ゆかり(パッケージ型支援PJ・東京学芸大学教授/養護教育)
小野 學(SNE学会会員・パッケージ型支援PJ特命准教授)
小野川 文子(SNE学会理事・名寄市立大学准教授/健康保健学部社会福祉学科)

<指定討論>

馬場 幸子(パッケージ型支援PJ・東京学芸大学准教授/SWコース)
村山 拓(SNE学会理事・東京学芸大学准教授/特別支援科学講座)

<問い合わせ先>

東京学芸大学・加瀬研究室 skase@u-gakugei.ac.jp 042-329-7386